# 時事新報

芝區三田慶應義塾英語會の席上に於てクレー マッコーレー氏の演説は立論の趣奇奇抜にして然も架空に非ず大に見る可きものあるが故に其概略を筆記して社説に代ふ

## 水力と電氣

我輩は今正に工業上、恐らくは古今未曾有なる大革命の域に棲息する者なり諸君の知らるゝが如く當世紀は之を名付て蒸氣の時代と云ふ蒸氣は燃料即ち石炭、油又は木に由て非ず近時文明の大なる蒸氣器械の其用を爲すは燃料の一定不變なる供給に依賴せるなり勿論なり左れば若しも此燃料を用盡して之に代る物を發見せざるに於ては世界の一切文明も敗頽に歸するみと疑ふ可くも非ずみの敗頽の將に人間世界を壓碎し去らんとするを觀て驚者の之を憂へ居りしや久し今に於て如何なる力にもあれ無盡藏なる器械力の新源を發見せざれば世界の進歩も今後、永續の見込なきものと云はざる可らず扨如何なる源やあると見廻すに先づ第一に水力は剛強のものなるが如しと雖も如何せんみは多くは深山幽谷の邊に在るか但しは人戸稠密の場處には達す可らざる處に在り水力の無盡藏なりとのみとは慥なりと雖もロンドン、ニウヨーク、東京の如き世界中にて工業の樂點は迚も此力の利用を期す可らず左れば爰に一ツの疑問あり世界現時の工業の文明は燃料の永存に依賴し居れりと雖も其燃料の永存なきを如何せん苟も教育あらん人には今日の割合を以て之を消費し行かば現今人に知られたる石炭並に其他の燃料は數百年を出でずして燒盡す可きや數に於て明なり扨みれを盡したる所にて彼の無盡藏と頼みたる程の石炭抗又は瓦斯及び油の井戸或は又果てしも見えぬ森林を如何にして恢復し得可きや其手段なきに當惑するみとならん然らば之を如何せんと云ふに唯電氣の應用のみ獨り後來に多望なるものゝ如し數年前、電氣の機關を以て器械を運轉する法を發明せし者ありしかども其電氣を發生する機關は蒸氣の力又は水の力を借りて之を運轉せざる可らず然るに今日の人智の有樣にては斯る輔けに依賴す可らざるは勿論のみとなり如何となれば蒸氣の力を以て發生したる電氣の力を用ると直接に蒸氣の力を用ると其間に存する相違は固より五十步百步の相違にして正しく同一樣の困難あればなり其困難とは何ぞや今後、力の源の盡る期の到るみと是れなり前既に陳べたるが如く水力は多くは人里遠き邊に在りて用を爲す是に於てか起りたる質疑は果して電力を遠方に送る能はざるかの一義なり若しも之を送るの法にして發明せられんには世界工業の進歩は此一事を以て安きを得るなり扨みれまで緩々、陳じ來りて諸君の清聽を煩はしたる所以のものは電氣の力を遠方に送りて其遠方の器械を運轉するの法は既に發明せられたり斯るが故に石炭、油並に其他の燃料の有無は人間世界に如何なる影響をも及ぼさゞる時期の來るは蓋し其だ遠きに非ざる可しとの一事を諸君に告げんが爲なり今日に於て確定したる二事あり第一、電氣は器械力として遠隔の地へ之を送り得可く第二、世界上の處々方々にありふれたる無盡藏の水力は電氣を生ずる源として依賴しられ得可しとの此二條なり昨年、獨逸國フランクフォルト府の電氣博覽會に於て百八哩先きなるラウフェンの滝より電氣を引來りて器械を運轉し電燈を輝かしたるみとあり然るに フランクフォルトに於て利用したる力は彼のラウフェンに於ける初發の力の凡そ四分の三にして百八哩の間に消散したる力は僅に四分の一のみなりしとぞ電氣の前途また多望ならずや又明年シカゴ府に開く世界博覽會に於ては五百哩先きなるナイアガラの滝を利用して器械を運轉し場内を輝かし室を暖め食物を煮る爲めの電氣を引來る可しとの噂あり左れば今後、人類は器械力を源として石炭を頼むに及ばずとの次第を單に示したるの譯を以て此世界博覽會を畔に世界の工業の文明に新紀元を成すみとあるも実に驚くには足らず近き距離の間に電氣の器械力を送りたるは數年前より其例ありと雖も山間の滝または海邊の波の運動を利用して電氣の力を數百里先きの都府へ送り幾千萬の人の便利を爲さしむるは蓋し今代の發明中にて最大靈明なりの大發明の爲めに生ず可き變化を考ふるに迚も我輩の想像の及び難きものあり其變化の中の一箇條は現今巨額の石炭を産有するが爲めに世界の器械力を産有し夫れが爲めに工業に由て生ずる品物を産出する國々に雄飛する國々も終には非常の水力を産掘して世界に伏するに至る可しとのとなり譬へば北米合衆國には二億馬力の水力あり其中に就き今日利用せられつゝあるものは二百萬馬力、即ち總馬力の百分一なり扨て彼の大なるナイアガラの滝は周圍五百哩以内の器械を運轉しロッキー山の急流は大なるミシシピーの谷間の工業を統轄するに至る可し又歐羅巴に於てアルプス山の急流漲布は幾多の器械を運轉するに至るとならん扨日本が今後、工業の集點として如何なる働を爲すかを考ふれば前途、實に春の海の如きものあり世界中にて人口斯の如く稠密にして其大さ之に同じき處にて日本ほど水力に富みたる處はある可らず貴國の都府をして斯の如く手近に在る水力を利用せしむるに何の之を妨ぐる物かあらん數年を出でずして貴國は當に彼の石炭を手類に品物を製造する諸國に頓着せず獨立獨行して彼等の製造費よりは廉き費用を以て品物を製造し之と競爭して種々の製造品を世界の處々方々に輸出するを得るに至る可し余が之を斷言する所以のものは貴國の水力に富めるを知ればなり諸君は器械力の中に最も廉き力に由て諸君の町と家とを耀し諸君の食物を料理し家を暖むる等、生活の快樂を得るが故に衣食住の最大要素は既に諸君の掌中に在りとも云ふ可し貴國の斷岸絶壁に直下する飛流または山間に奔流する溪川は皆是れ日本をして未來の富國たらしむる寶なり

以上陳じ來りしものは假空の妄想に非ず乃ち電氣の器械力を遠方に送り得可しとの最近の最大發明に基きたる眞面目の眞理なり

## 雜報

○皇太子殿下 は去る九日午後十二時三十分御出門にて帝國大學春季短艇競會場へ行啓午後四時四十五分還御又一昨十日午前十時御出門高輪御殿へ行啓午後四時三十分還御又昨日は午後二時より宮城へ御參内遊ばされたりと

○内閣靜觀 昨十一日内閣は松方首相初め一大臣も出頭せず渡邊會計檢査院長出閣の上平山書記官長と暫時協議の末退出したりと

○外國郵便印紙偽造者處分法案 今度の議會に向て遞信省より海上衝突豫防法及び小包郵便法の二案を提出する事は既に此頃の本紙に記載せしが今又聞く所によれば同省にては外國の郵便印紙を偽造變造し若くは悟を知て之を使用せし者を處分する法律案をも今度の議會に提出する由なるが同法律制定の理由は昨年の五月墺國維那府に於て萬國郵便聯合會議を開きたるに同會に委員を出席せしめたる同盟國は凡そ五十餘個國ありて我國よりは特に遞信大臣秘書官藤田四郎同省書記官因藤成光の兩氏を派遣せり此聯合會議に於て各國皆同盟して互に外國の郵便電信に關する印紙を偽造變造したる者を處分するの法律を制定し本年七月より之を實施する事と爲したるに依り今度遞信省にても之を提出する事と爲したるが我國の如く海中にありて外國と懸離れたる國には餘り事例のなき事なれども歐洲大陸の如く互に國境を交へ犬牙相接する國々にては甲國の人民が乙國の郵便電信印紙を偽造變造しず隣りなる乙國に到りて之を使用し又は賣却する等の事は實に珍らしからざる事にて爲に往々其國の損害を惹起するみと少なからず獨逸の如きは既に刑法の明文に其處罰法を規定すれども各國多くは之を設けず現に我國の刑法にも其第百九十八條に「官より發行する各種の印紙界紙及び郵便切手を偽造變造し又は其情を知て之を使用したる者は一年以上五年以下の重禁錮に處し五圓以上五十圓以下の罰金を附加す」とありて自國のものに關する處分法はあれども外國に關する明文は毫もある事なし又其他の法律に於ても更に之れなきを以て假令ひ我國の人民が外國の郵便切手を偽造變造して之を使用するみとあるも之を罰するみと能はず各國にも此類例多きを以て本年の七月までに之を設定する事とあしたるものなりと又同法案は至極短簡のものにて僅々三四箇條に過ぎずして其刑罰は外國のもの丈けに右刑法第百九十八條より一等輕減して編制し單行法律として之を施行するものなるよし

○軍艦比叡の安着 孫て遠洋航海中なりし軍艦比叡は去る二日香港を出帆し一昨十日午前十一時無事品川灣に安着せしよし

○小松宮殿下 は同妃頼子殿下と共に靜岡縣下へ旅行中の處一昨十日歸京されたりと

○佐々木御料局主事 は昨十一日御料局生野支廳及び大坂製煙所へ出張を命ぜられたり

○大坂の紳商大三輪長兵衛氏 は過般朝鮮政府の筋に頼まれて同國財政の整理に著手し爰に我國より資本を貸して之を元手に錢を鑄り其利益を基本にして手形やうのものを發行するとか云ふ趣向にして彼の政府の爲めにも又我金主の爲めにも双方共に中々面白く首尾能く參れば近來の妙案なりとて我政府の筋にても夫とおく之に贊成して多少の便利を與へ既に此程その便利の相談も整ふたる由なれば金主の一類は滿足なる可し

○特旨叙位 正六位毛利重輔氏外七名は昨十一日宮内省に於て特旨叙位の沙汰ありたりと

○帝國大學の競漕會 前號の紙上に記載せし如く帝國大學にては去る九日隅田川の上流に於て第六回の春期競漕會を開きたりしが同日は近來稀れなる好天氣なりしかば招待を受けたる朝野内外の紳士貴女は午前より現場へ詰掛け午後一時に至り皇太子殿下も御臨場ありて實に珍らしき盛況なりしが此日の競漕番組は總て十六番にて其中分科大學の競漕和船の競漕も二回ありし場りしが此間を早きは四分五到達し櫂を収てする和船のにて漕付けしかば觀客は何各科の學生打混したる競漕程の事なかりしも概して法さしく分科大學(法、醫、工)勝を制したるのみにて他はンピオンフラッグまでも終に敗したりと

○出雲丸乘客の生死は尚ほ近海に於て沈没したる汽船凡そ五十人の生死不分明通りなるが右艱難の報に接し現場に向け急航したる索したれども更に船體及び一昨十日午前八時出雲丸船水夫二名を乘せて釜山に航能はずと云ふ

○機關手に上京を命ず 沈船乘客一名は軍艦愛宕に拠は着したるに日本郵船會社機關手に至急上京すべき旨したる上は遭難顛末の詳細

○海軍省の問合せ 出雲丸交際官試補及び鳴崎愛宕艦たれども未だその詳報に接昨朝其向々へ夫々問合せ

○林外務省試補の行衛 最て渡來せしリセンドル氏は條約改正の議を申出でたる交官試補を發遣して同嗚たるが同氏は多分此程朝鮮丸に乘込み居たるならん省にても大に氣遣ひ居る

○關海軍大尉ど三宅少軍醫報道に據れば關海軍大尉丸に乘込み仁川を發したる明なりと云ふ

○保險料は僅かに三百餘圓 出雲丸は米穀の類を積み居保險會社の保險付のものと云ふ

○ペサリントン氏の無罪 東洋艦隊軍艦マリオン乘組が英夫英人ロビンソン氏米國領事館に於て去九日號の紙上に記せしが右裁判に此の件の起りし當時人なれば居留地兩國人民の其審問に注意せし有樣告が陳述したる事情を聞く爲は不正當なりとの觀念を與へたるに付兩國人共に

○郵便汽船發車時刻 新橋(下り) 午前六時(急行)、七時、八時、九時、九時卅分(急行)、十時四十五分、十一時四十五分、午後一時、一時十分、二時、三時十分、四時十五分、五時十五分、六時五十分(急行)、七時十五分、八時十五分、九時十五分、十一時十五分(急行)、十一時四十五分(急行)、十一時五十五分(急行)、十二時十五分(急行)、十二時四十五分(急行)、十二時五十五分(急行)、一時十五分、一時四十五分、二時十五分、三時十五分、四時十五分、五時十五分、六時十五分、七時十五分、八時十五分、九時十五分、十一時十五分(急行)、十一時四十五分(急行)、十二時十五分(急行)、十二時四十五分(急行)、十二時五十五分(急行)、一時十五分(急行)、一時四十五分(急行)、二時十五分(急行)、三時十五分(急行)、四時十五分(急行)、五時十五分(急行)、六時十五分(急行)、七時十五分(急行)、八時十五分(急行)、九時十五分(急行)